

気仙沼市立大谷小学校にて「地域と災害特性を共有する防災発表会」に参加しました (2022/12/8)

テーマ：学校防災，防災教育，地域連携
会場：気仙沼市立大谷小学校

12月8日（木），気仙沼市立大谷小学校を会場に，第3回学習参観・懇談会並びに「地域と災害特性を共有する防災発表会」が開催されました。気仙沼市立大谷小学校はこの2年間，宮城県教育委員会及び気仙沼市教育委員会より「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」の研究校として指定を受けていました。

3年生から6年生までの学年ごとにテーマに沿って活動計画を立て，生徒達で考えて自然災害から身を守る術を学習してきました。発表では，最初に3年生による学校での避難の仕方，教室の違いによって起こる被害の違いや身の守り方の発表がありました。その後，4年生は「災害の伝承について考えよう」，5年生は「大谷の防災について考えよう」，6年生は「『災害』自分達に出来ること」を発表，出席者は各教室をまわりながら生徒の話に耳を傾けました。

生徒の発表後，地域連携型学校防災体制等構築推進事業2年間の取り組みについて，大谷小学校菅原基主幹教諭より目的や背景，事業の内容についての説明がありました。当日は，生徒の保護者や教育関係者などが発表の見学を見守りました。この2年間の教育の成果がみられたのではないのでしょうか。最後に当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）による指導助言があり，「内容に『深みと厚み』があった，防災教育を入り口として地域とのつながりもあり，先生方に真剣に取り組んでいただいたトップレベルの発表だったのではないか」との総評がありました。



発表の様子①



発表の様子②



発表の様子③



佐藤翔輔 准教授